

■福島県飯館村の震災・原発被災の現状

災害対策本部長（飯館村長） 菅野典雄

1、給水

昨夜遅く、厚生労働省健康局水道課から「飯館村における水道水中の放射性物質の検出」の通知を受け、今朝6時に全職員を緊急招集し全戸に水を配給した。

住民への水の供給量は10t。職員が各戸を巡回し在宅人数を確認して、一人当たり500mlのペットボトル6本＝3リットルを配達し、午後5時に作業をようやく終えた。

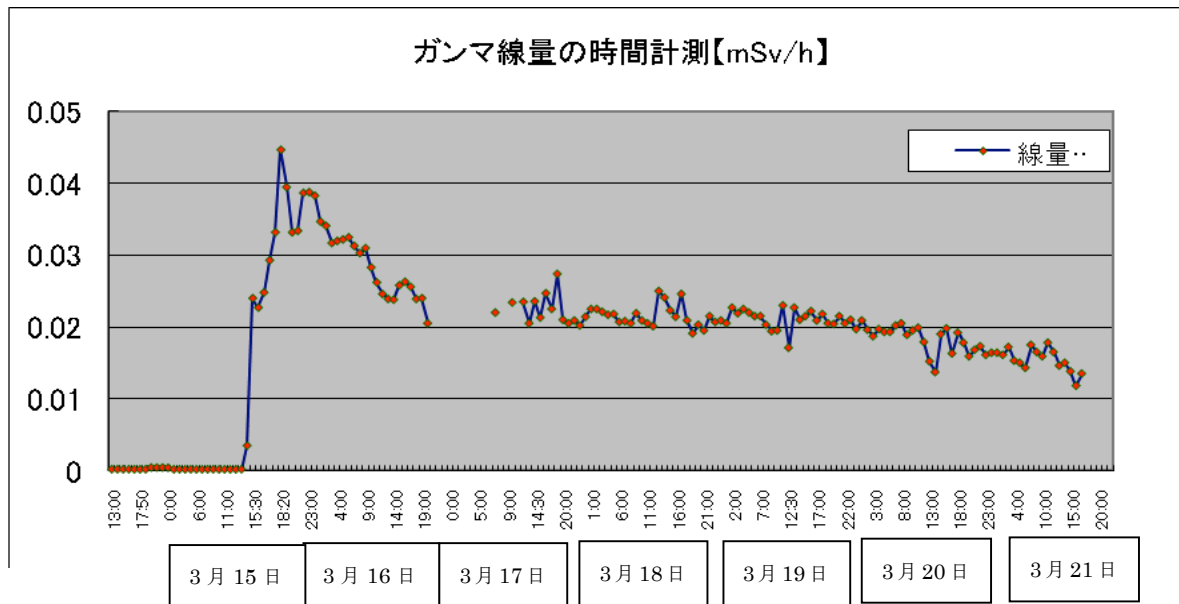
明日も一人当たり約10リットル、総量30tの全戸供給を計画している。

2、水質

村内に点在する4箇所の簡易水道配水池から給水している水のBqベクレル値についても、今日、県が分析のためサンプルを採水した。今後3日間、給水をサンプリングし分析にあたる。

3、放射線量の値

役場周辺では、12μSv付近まで下がってきた。



4、医薬品、医療

村内の薬局ではまだ薬を確保できていないため、隣接する川俣町や福島市の医療機関に頼っている。

ヨウ素剤については「20マイクロシーベルト」以下の値では緊急性がないものと判断し、配付を行っていない。

5、鹿沼市の状況

20日までに集団自主避難者510人が鹿沼市の体育館に避難したが、親戚や知人を頼って、今日まで約70人が鹿沼市から首都圏などに退出した。

避難者は鹿沼市役所の保健師からの看護を受けるなど、落ち着いた生活をしている。村職員3名が避難者支援にあっている。

6. 今後の対応

<決定事項>

- ・ 遠隔地に移動した村民の医療保険を考慮し、引き続き「遠隔地用健康保険証」を交付する。
- ・ 村民を対象に、被爆の有無を調べる県の「スクリーニング」が、22日と23日に「いちばん館」で実施される。村は村民の移動手段として各地区にスクールバスを巡回させる。